

プログラムを"振り返って"

9月例会

辰巳信子

テーマを踏まえ、それぞれに目標を持ち、さらなる挑戦、開花をめざしてスタートした今期。まずは「1分教育」で ITC 創始者のアーネスティンホワイト女史のことを教えていただきました。「教育」では必要不可欠な“メール”についての新たな知識とマナーを、「今日の話題」でも“迷惑メールについて”の事例を聞き、多くのことを学びました。そして、今期の新たなプログラム「If・・・」では、私自身が話すにあたり、制限時間のなかでどのようにまとめたら、聞き手に理解されるのかなど改めて話す難しさを感じました。プログラムを通して、自分と相手の縦・横軸をより深め、自分自身を高めていくことが重要ではないかと再確認しました。

10月例会

井上純子

第250回目となる節目の例会になると会長のご挨拶で、知りました。1分教育で、第1回例会について唯一のチャーター会員の興味深い話がありました。帯プログラム「If・・・」シリーズ”では、マダム愛子画伯の夢一杯のスピーチ。教育は、2020年東京オリンピック誘致という身近な例をあげて、「プレゼンテーション」について判りやすいものでした。続いて実践。二人一組で、プレゼン「私は、ツアーコンダクター」「神々の宿る癒しのバリ」「トロッコ列車と保津川下り」「なりきりプリンセス・パリ6日間」と、どれも聞いているだけですっかりその気にさせ説得力あるユーモアあふれる3組のスピーチに、会員は抱腹絶倒。最後は、初めてと思えない的確な総評でしめられました。

11月野外例会

谷間のり子

京都・洛北・鷹ヶ峰 「しょうざんリゾート京都」を訪れて



初めて行ったのは30年前でした。今では無くなってしまいましたが「しょうざんお召」という着物の発祥の地ということで訪ねました。その当時は、和食のお店だけで、苔生したお庭に小さな川があり飛び石を配したところで散策を楽しみ、今、工芸館になっている場所では織機がパタンパタンと軽やかに音を発てていました。

今では教会や洋・中華と沢山の建物が建ち、すっかりと様変わりしています。

時(歳)の流れをつくづくと感じながら・・・、素適な建物が増えてキョロキョロ。ホッとしたのは、北の庭園が以前のまま迎えてくれたことです。凜とした北山杉の間から、赤やオレンジに彩られた美しい紅葉を満喫しました。お天気にも恵まれ、胃袋も大満足！あちこちに話の大輪が咲き乱れ、アッ！！と言う間の懐かしさと、賑やかさが入り混じった楽しい一日でした。